

令和３年度 平野区区政会議（１２月）全体会 会議録

１ 開催日時

令和３年１２月６日（月） １９時００分～２０時５３分

２ 開催場所

コミュニティプラザ平野（平野区民センター）大ホール

３ 出席者

（区政会議委員）２６名

稲田委員、浦崎委員、大内委員、大澤委員、岡本委員、梶浦委員、川口委員、京極委員、
日下委員、黒田委員、是松委員、田中委員、田部井委員、田村委員、辻野委員、鶴澤委員、
橋本委員、八野委員、比嘉委員、福本委員、松野委員、水野委員、本塩委員、山村委員、
山本委員、湯浅委員

（前区政会議委員）３名

岡崎委員、新玉委員、中川（洋）委員

（平野区選出市会議員）２名

田中議員、永井議員、永田議員、吉見議員

（平野区役所職員）２０名

武市区長、堀井副区長、寺脇安全安心まちづくり課長、小林まちづくり推進担当課長、
稲見企画調整担当課長、長谷川安全安心まちづくり課長代理、三河防災・減災担当課長代理、
奥田まちづくり推進担当課長代理、鶴田企画調整担当課長代理、小山保健福祉課長、
西岡地域保健担当課長、小阪保健福祉課長代理、岩男地域担当課代理、小野保健副主幹、
立本こども教育担当課長、宍倉総務課長、松元政策推進課長代理、京極こども見守り担当課長代理
尾崎こども家庭担当課長代理、葉山保健副主幹兼保健福祉課担当係長、吉野政策推進課長

４ 議題

- （１）平野区将来ビジョンの改訂について
- （２）令和４年度 平野区運営方針（素案）について
- （３）長原駅前未利用地を活用したまちづくり基本方針について
- （４）その他（令和２年度 平野区運営方針・評価結果について）

５ 会議内容

○司会（小西政策推進課担当係長）

すいません。定刻のほうになりましたので、ただいまより会議のほうを始めさせていただきます

と思います。皆さん、こんばんは。それではただいまより令和3年度平野区区政会議（12月）を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。私は司会を務めさせていただきます、平野区役所政策推進課の小西と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは開催にあたりまして区長の武市よりご挨拶を申し上げます。

○武市区長

どうも皆様こんばんは。平野区長の武市でございます。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。平野区の区政会議につきましては、この間の新型コロナウイルス感染症の影響で一堂に会して開催することができず、本日約1年ぶりの開催となります。この間、委員の皆様方にはご意見を頂戴する場を設けることがかなわず、大変心苦しく思っております。本日は新たに委員になっていただきました方も共に平野区将来ビジョン及び区運営方針について限られた時間ではございますけれども、忌憚のないご意見をいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

続きまして、本日ご出席の皆様と関係者の紹介でございますが、お配りしておりますA3、両面の平野区区政会議委員および関係者名簿をご覧ください。表面が名簿、裏面が座席表となっております。

本来であれば改選後、初の会議となりますのでお一人ずつ自己紹介をお願いするところではありますが、時間の都合上大変恐縮ですが、委員の皆様、前区政会議委員の皆様にはご覧の名簿を持ちまして紹介とさせていただきます。続きまして本日オブザーバーとしてご出席いただいております市議員の方々をお名前だけになりますがご紹介させていただきます。田中ひろき議員。永田典子議員。吉見みさこ議員。

新田孝議員、永井広幸議員におかれましては遅れてのご出席予定となります。また杉村幸太郎議員におかれましては所用のためご欠席でございます。次に区役所職員の紹介につきましても時間の都合上、ご覧の名簿を持ちまして紹介とさせていただきます。

続きまして、傍聴者などのご報告です。傍聴ならびに報道機関の取材は本日はございません。

続きまして、次に本日使用する資料の確認をさせていただきます。先ほどご覧いただきました平野区区政会議委員および関係者名簿と本日の次第です。

続きまして、事前にお送りさせていただいた資料になりますが、資料番号1番、「令和2年度平野区運営方針の振り返り等」に対する区政会議委員の皆様のご意見【評価シート結果】。資料番号2番、区政会議におけるご意見への対応状況（令和3年11月時点）。資料番号3番、今回の区政会議で主にご意見をいただきたい項目。資料番号4-1番、平野区将来ビジョン（案）＜概要版＞。資料番号4-2、平野区将来ビジョン（案）。資料番号5-1、令和4年度平野区運営方針（素案）【概要版】。資料番号5-2、令和4年度運営方針（素案）。資料番号5-3、平野区運営方針めざす成果および戦略（H29年～の経年変化）。資料番号5-4、平野区運営方針 具体的取組の指標（直近3年間の経年変化）。資料番号6番、長原駅前未利用地を活用したまちづくり基本方針。最後に、本日お配

りしています資料「広報ひらの12月号」および「人権フェスティバル」のチラシでございます。

なお、その他の資料といたしまして、本日分のアンケート用紙などがございますが、こちらにつきましては後ほどお配りさせていただきますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

資料のほうは以上となりますが不足・落丁のほうはございませんでしょうか、大丈夫でしょうか。不足・落丁ございましたら挙手の上、お近くの職員のほう、お呼びください。

それでは、ここで本日のタイムスケジュールについて、簡単にご説明させていただきます。まず次第の通り、議長・副議長の選任を行います。次に区役所から資料1から6を用いて今回の議題であります、平野区将来ビジョンの改訂について及び、平野区令和4年度運営方針（素案）の概要、また長原駅前未利用地を活用したまちづくり基本方針についてを計25分程度でご説明させていただく予定になります。それが終わりましたら各グループにわかれていただきまして、意見交換を行っていただきます。小グループは移動・休憩も含めまして50分程度を予定しております。その後再び今のお席に戻っていただき、全体会を再開します。

この場では各グループで出たご意見などを報告していただき、それをもとに皆さんで議論をしていただければと思います。終了は21時を予定しておりますので、円滑な進行にご協力のほどよろしくお願いいたします。

会議を始めるにあたりまして事務局より皆様にお願いがございます。新型コロナウイルス感染症対策のため、会議中は常時のマスク着用をお願いいたします。また換気のため扉を開放した状態で行いますので、各自防寒対策をお願いいたします。なお必要ございましたらカイロをご用意しておりますのでご利用の際は職員までお申し付けください。

続きまして次第の2、議長・副議長の選任でございます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条では、議長は区政会議を主宰する。副議長は議長を補佐し、議長が欠けたとき又は、議長に事故があるときは区政会議を主宰することとなっております。また、この条例では委員の皆様の互選により議長ならびに副議長を選任することとなっております。

議長ならびに副議長についてどなたか立候補や推薦の方はございませんでしょうか。

無いようですので、区役所事務局より推薦のほうをさせていただいてもよろしいでしょうか。

すみません。それでは事務局のほうより推薦のほうをさせていただきます。

○吉野政策推進課長

はい、ありがとうございます。当会議の事務局、平野区役所政策推進課長の吉野と申します。よろしくお願いいたします。ただいま異議なしということで事務局のほうから議長及び、副議長の候補者としてふさわしいと考えています方のお名前を申しあげたいと思います。まず議長には前期まで当会議の議長を務めていただきました、常磐会学園の岡本和恵委員に、副議長には今期2期目を迎えられる委員を代表し、これまでもこの区政会議において積極的にご発言いただき、今後も会議の活性化にご協力を賜りたいという思いから平野区地域包括支援センター運営協議会の鶴澤知典委員にお願いしたいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。

（拍手）

○吉野政策推進課長

はい、ありがとうございます。

○司会（小西政策推進課担当係長）

ただいま事務局より議長に岡本委員、副議長に鶴澤委員の推薦がありました。岡本委員、鶴澤委員よろしいでしょうか。

はい。ありがとうございます。それでは岡本委員を議長に鶴澤委員を副議長にお願いするという
ことで、再度皆様の信任の拍手をもって選任とさしていただきたいと思いますが、いかがでしょう
か。

（拍手）

○司会（小西政策推進課担当係長）

はい、ありがとうございます。

それでは岡本委員、鶴澤委員は、議長、副議長席にお移りください。

よろしいでしょうか。それでは議長、副議長より一言ずつご挨拶のほうをお願いしたいと思いま
す。まずは岡本議長のほうからよろしいでしょうか。

○岡本議長

失礼いたします。常盤会学園の岡本和恵でございます。前期から引き続きましての、この会議に
参加させていただいております。あの、平野区をさらに魅力的にもっと豊かにするようなご意見を
皆様方からたくさんいただきたいと、それをまた、あの、反映させていただけたらと願っております。
どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

ありがとうございました。続きまして、鶴澤副議長、一言お願いいたします。

○鶴澤副議長

はい、平野区地域包括運営協議会から出席さしていただいている鶴澤いいます。よろしくお願
いします。ご指名いただきましてありがたいかありがたいか、ちょっとわかりませんが、
私は平野区民の人間ですので、皆様と一緒にね、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしく
お願いします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

ありがとうございました。それではここからは岡本議長に議事進行をお願いします。

最初に会議の成立及び会議の公開についてご確認をお願いいたします。現在の出席委員数は25
名です。

○岡本議長

はい。よろしくお願いいたします。平野区区政会議は委員定数の過半数の出席をもって会議が有

効となるところです。本日は委員 32 名中 25 名のご参加をいただいておりますので、本会議は有効であることをご報告いたします。

この会議は録音されて、後日会議録が公開されます。また限られたお時間の中、多数の委員の皆様にご出席いただいております。会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。

続きまして、本日の議題となります将来ビジョンの改訂及び令和 4 年度平野区運営方針（素案）及び長原駅前未利用地を活用したまちづくり基本方針についての説明でございます。こちらについては区役所よりご説明をお願いいたします。

○吉野政策推進課長

はい、平野区役所政策推進課長の吉野でございます。私から議題 1 から 3 の流れについてご説明申し上げたいと思います。座りながらの説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員改選前の今年の 9 月でございますが、当時は緊急事態宣言中ということで書面での意見聴取に切り替えて行いました、いわゆる書面開催での区政会議におきまして、これまでの平野区の実績として今後の区政運営につきまして委員の皆様から評価と様々なご意見をいただきました。お配りしております資料 1 は令和 2 年度の平野区運営方針の各取組に対する皆様からの評価結果をまとめたものでございます。具体的取組、各経営課題、そしてそれらを総括して有効なものであったかどうか、4 段階での評価をいただきました。その横のマスには、「思う」、「やや思う」の上位 2 つ、肯定的評価の割合を令和元年度の評価と比較してパーセンテージで表しています。一番右の重点のマスは令和 4 年度に平野区は重点的に取り組むべきと思う項目について 3 つ〇を入れていただき、その合計を表しています。

次に資料 2 でございます。資料 2 には評価と併せて書面で皆様からいただいたご意見に対する区としての考え方、対応方針を整理したものでございます。資料 1 及び資料 2 は事前にお送りいたしました資料でございますので、それぞれの項目のご説明は会議運営の、会議進行上会議進行の都合上、この時間帯では省略させていただきたいと思いますが、項目によってはあとの意見交換の場などで参考にご説明、ご紹介させていただく場合もございます。

次に資料 3 のほうをご覧ください。本日の区政会議で主にご意見をいただきたい項目につきまして紹介をさせていただきます。このあと区長および私のほうから令和 4 年 4 月に改訂予定の平野区将来ビジョンの案、令和 4 年度平野区運営方針の素案の概要をご説明いたしますので、グループ別の意見交換の場において資料 3 の記載内容を参考にしながら皆様から忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。今回資料 3 の裏面の下のほうですね、運営方針や将来ビジョンの策定に関する年間スケジュールを参考に掲載しています。今回の将来ビジョンの案や運営方針の素案の内容につきましては、主に改選前に区政会議の委員の皆様から平野区の施策や取組などに対していただいたご意見などを踏まえながら策定したものであり、また来年度の予算額につきましても現在区役所において検討中のものでございます。

将来ビジョンの案につきましては今後パブリック・コメントを実施の上、策定に向けた検討を進めてまいります。後ほど皆様にもパブリック・コメントの用紙をお配りいたしますのでご協力をお願いいたします。

運営方針につきましては今後、素案から案への策定を進めまして来年 3 月ごろに開催予定の次の

区政会議におきまして再度委員の皆様との意見交換を行いつつ、また議会での審議を経まして予算とともに来年の4月に確定していく流れとなっておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

それでは区長から資料4-2の今、プロジェクターで映しております、平野区将来ビジョン（案）です。次に私のほうから資料5-1の令和4年度の平野区運営方針（素案）【概要版】、その次に稲見企画調整担当課長から資料6の長原駅前未利用地を活用したまちづくり基本方針についてご説明いたします。なお運営方針につきましては区運営の基本的な考え方と各経営課題、資料で言いますと7ページ目までご説明を私のほうで行います。8ページ以降の具体的取組以降につきましては、各グループにわかれた際に区役所の各担当からご説明の上それをテーマに資料5-2以降の運営方針の関連資料も参考にしながら皆様との意見交換を行いたいと思います。

グループ別の意見交換の終了後、再度お集まりいただき、意見交換の状況報告でありますとか、入っていただいたグループ以外のところでのご意見ご質問等をお聞きする時間帯を設けたいと考えております。

それでは説明を始めさせていただきます。

○武市区長

それでは区長の武市です。私のほうから平野区将来ビジョンについてご説明させていただきます。皆様のお手元にも資料がございますが、前のほうにもプロジェクターで映しております。今回策定いたしました平野区将来ビジョンにつきましては、令和4年から7年までの概ね4年間を見据え、平野区政を推進していく上でのめざすべき将来像や将来像の実現に向けたまちづくりの方向性をとりまとめたものでございます。ビジョンですので、具体的な細かい施策の中身というよりはどのようなふうを考えていこうと思っているかというようなものを示したものです。これまで進めてきました取組を継続していくことを基本としつつ、施策の進め方について今現在ある施策同士の連携を強化することを主眼に現行のビジョンからの更新を行いました。

平野区は大阪市の東南部に位置しておりまして、イラストにもございますように5つの圏域で構成されております。区の南部には公営住宅や中高層住宅が建つまちなみの中に農地や遺跡が存在し、中央部には古民家や寺社・仏閣があり、北部には工業地帯・地域としての性格を有する大変バラエティに富んだまちと言えます。

平野区の課題でございますけれども、シャボン玉のイラストにも描かれておりますように大変多岐にわたる課題が山積しているとともに様々な分野の課題がそれぞれ絡み合って複雑化・複合化していると考えております。これらについてはあとのスライドでももう少し詳しくご説明させていただきます。

平野区がめざす将来像として地域のつながりなどさまざまなつながりを大切にすることにより誰一人も取り残さず平野区に関わるすべての人が笑顔で暮らしやすいまちとして「笑顔輝くまち ひらの」をめざしたいと考えております。

次のスライドからは将来像の実現に向けて平野区が進めていく施策についてのご説明になりますけれども、このスライドの下で紹介しておりますように施策を進めていくにあたりましてはSDGsという世界全体で取り組んでいる17の目標の達成を意識しながらやっていきたいと考えております。

次ですけれども、将来像の実現に向けた施策の方向性ということで、「笑顔輝くまち ひらの」の実現に向けて、その下に書かれている丸で書かれている3つのまちづくりに取り組んで参りたいというふうに考えております。

まずひとつめですけれども、安全・安心のまちづくりとしてこのまちづくりを進める上での背景にはですね、災害への備え。特に、高齢者や障がいのある人など自力避難が難しい方への支援ですとか、防犯では特殊詐欺や子どもを狙った犯罪といったこれまでの街頭犯罪とは違った犯罪の多様化がございます。

そして町会・自治会等への加入率の低下でありますとか地域活動の担い手不足などが進む中でどのようにして地域コミュニティを維持していくか、ということであるとか、平野区に愛着を持って住み続けられるための魅力あるまちづくりといった課題があると考えています。

その解決に向けては日ごろから顔の見える関係の構築ですとか地域コミュニティの強化が重要であると考えております。

地域住民が防災に高い関心を持っていただくために消防とも協力して防災意識の普及啓発や地域住民との協働や警察との連携によって安全で安心なまちづくりの推進、様々な人が地域活動に参加し、地域団体間での連携・協働そして地域と行政との協働による地域課題の解決に向けた取組の促進。区民ニーズ等を踏まえた未利用地の有効活用の方針に基づいてまちの魅力の向上に取り組むことで、誰もが愛着を持ち安心して住み続けることができるまちをめざしたいと考えております。

2つ目ですけれども、みんなで支えあう福祉のまちづくりとして、ここでの背景ですが平野区においては高齢者の人口も多く、また要介護認定者数ですとか障がい者手帳の所持者数も大変多くございます。今後もまたそれは増加が見込まれているということですとか高齢者の孤立を防ぐための必要な支援や健康増進、生きがいつくりや認知症や障がいのある人などへの正しい理解の促進、そして早期発見や早期支援につなげていく必要性といった課題がございます。

その解決に向けては支援が必要な人が孤立することがないように、発見して見守って支える、この「発見」「見守り」「支える」ための取組を実施し、すべての人と人が支えあえる関係性を築く必要があると考えております。

そのために区民がつながり支えあう、住んでいる地域で健やかで生き生きと暮らせるよう地域の実情に応じた地域支援体制が有効に機能し、認知症や障がいのある人などのさまざまな状況に対する理解を深めることができるよう取り組むことで、すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり支えあえるまちをめざしたいと考えております。

3つ目ですが、子どもが元気で育つまちづくりとして、ここでの背景ですけれども子どもの学力・体力の低下ですとか不登校の課題、ソーシャルネットワークサービスを使った新たないじめ、事件などが増えていることですとか、そういうそれらに不安や悩みを持つ保護者の増加、またネグレクトや虐待、最近ではヤングケアラーの問題を抱える支援が必要な家庭も増えております。

この下のところにヤングケアラーについて少し注釈を入れております。大変新しい考え方ですので、耳慣れない方もいらっしゃるかもしれませんが、ヤングケアラーというのは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることによって子ども自身がやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる子どもというふうに定義されておりますが、小さな弟さんや妹さんを保育所に送り迎えをすることで学校に遅刻をしたり、学

校に行けなくなっているこども、あるいは精神疾患を抱えたお母さんのしんどい気持ちをずっと聞くことでお母さんを支え続けて自分の勉強をする時間がない。で、家族の中に要介護の高齢者がいて、その介護を若い学生である人が担っているというような状況ですね。必ずしも家族の世話をすることはダメなことというわけではありませんけれども、それが本来大人が担うべきものがこどもが担っており、そのことで本来のこども自身がやりたいことをやるべきことができてないような、支援が必要な状態がたくさん生まれてきているので、そういう視点を持った支援者が必要になってくるといふように言われております。ちょっと注釈を入れさせていただきました。

そして課題の中で、若い世代が安心してこどもを産み育てられる環境づくりやこどもが健やかに成長し、社会や地域に貢献する次世代につなぐ人材育成といった課題があると考えております。その解決に向けてはすべてのこどもが適切な環境で養育され、こどもが生きる力を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち、育つことで自立した大人になれるよう地域ぐるみで支えていく必要があると思います。

そのためにこどもたちの健やかな育みを支えるため、妊娠期から子育て期、こどもの社会的自立までの切れ目のない支援を進め、子育ての不安や悩みのある方が相談しやすいよう取り組むとともに児童虐待を未然に防ぎ深刻化させないための対策をより一層強化し、基礎学力の向上、読書習慣および家庭学習・生活習慣の定着に向け総合的なこどもたちの学びの支援に取り組むことで、子どもたちが家庭・学校・地域で育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまちを目標としたいと思います。

考え方といたしまして、今、平野区が取り組んでいく3つのまちづくりをご紹介いたしましたけれども、それぞれのまちづくりをバラバラに進めては、先ほど申しあげた多岐に渡りかつ複雑化複合化する平野区の課題には十分に対応できないと考えております。そこでこの3つのまちづくりを有機的につなげ将来ビジョンの策定の狙いでもあるそれぞれの施策間の連携・協働の促進を図ること、タイトルにもありますように「つなげる ひらの」を基本に進めてまいりたいと思います。「つなげる ひらの」には施策間の連携以外にこれまで培ってきた地域や区役所での様々な取組を次世代につなげることや、区役所が主体的に区における様々なつながりを作っていくなどの意味を含めております。

施策間の連携の例として、ここに高齢・障がいのある方への避難支援といった防災と福祉分野の連携でありますとか、児童虐待などの早期発見・支援などの福祉と教育こども分野の連携ですとか、地域活動と教育こども分野の連携としては地域の方々による登下校時の見守りなどを挙げております。そして3つの施策がすべての連携としてはソフト面・ハード面における次世代につなぐ魅力あるまちづくりなどがあると考えております。

以上が今回策定した将来ビジョンの案の概要となっております。次に担当課長より将来ビジョンの年度ごとのアクションプランとなります令和4年度の平野区運営方針の素案について説明させていただきます。

このスライドにもありますように新型コロナの影響で私たちを取り巻く状況は大きく変化して暗い話題が続いてまいりましたが、これからは平野区に関わるすべての皆様が「笑顔輝くまち ひらの」に向けて多くの皆様とのつながりを大切にしながら着実に取組を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

○吉野政策推進課長

はい、引き続きまして私のほうから資料５－１の令和４年度の平野区運営方針の素案の概要版についてご説明させていただきます。資料５－１の２ページをご覧ください。

運営方針とはというところですけども、先ほどの将来ビジョンで区長から申しあげました平野区がめざす将来像、「笑顔輝くまち ひらの」の実現に向けて進めていく３つの施策、まちづくりにつきまして、運営方針ではそれぞれを経営課題と位置付けまして各経営課題ごとに戦略、さらには具体的取組を成果目標とともに毎年度設定の上、進捗管理していくこととしています。このページにおきましてはその将来ビジョンと運営方針の関連性を示している図になります。

次に３ページに移ります。令和４年度平野区運営の基本的な考え方をまとめております。

具体的には次の４つの取組を重点的に進めてまいります。１点目は地域の自助・共助がいかに大切かを呼びかけながら大規模災害や感染症に備えた防災力の強化を図る取組。２点目は地域で孤立することがないように「発見」「見守り」「支える」ための取組。３点目はこどもたちが生きる力を身につけ自立した大人になれるようこどもが生まれる前から社会的自立までの切れ目のない支援。４点目は児童虐待を未然に防ぎ深刻化させないための対策の一層の強化。以上重点的にかつ着実に進めるために３つの経営課題であります、「安全・安心のまちづくり」「みんなで支えあう福祉のまちづくり」「こどもが元気で育つまちづくり」に取り組んでまいります。将来ビジョンでも触れましたようにあらゆるつながりを大切にしながら進め、次世代につなげていくことで笑顔で暮らしやすいひらののまちをめざしてまいります。

次に４ページ目からですが、それぞれの経営課題について要点を説明させていただきます。

まず経営課題１「安全・安心のまちづくり」につきましては、誰もが愛着を持ち安心して住み続けることができるまち「ひらの」という将来像をめざし、防災リーダーが中心となり自主防災組織による主体的な取組を実施すること等により、防災意識の普及啓発に努めるとともに地域との協働や警察との連携によって、より安全で安心なまちづくりを推進してまいります。

また様々な人が地域活動に参加し、地域団体間での連携・協働が行われ、地域と行政が協働し、地域課題の解決に取り組むとともに区民ニーズ等を踏まえながら未利用地の有効活用も図ってまいります。

次に５ページですね。経営課題２の「みんなで支えあう福祉のまちづくり」につきましては、すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり支えあうまち「ひらの」という将来像をめざしまして、地域の実情に応じた地域支援体制が有効に機能しつつ、認知症や障がいがある人などのさまざまな状況に対する理解を深めながらみんながいきいきと暮らしていけるよう地域福祉力の向上に取り組んでまいります。

続いて６ページ。経営課題３「こどもが元気に育つまちづくり」につきましては、こどもたちが学校・地域・家庭で生まれ育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち「ひらの」という将来像をめざし、こどもが自ら大人や友達と関わりを持ち、育つことができるよう、またすべてのこどもが適切な環境で養育されるようきめ細やかに支援しながらこどもの生きる力の向上に取り組んでまいります。

続いて７ページ。アウトカム指標です。この指標につきましては中期的な視点でめざす状態を客

観的に測定できるよう数値化した成果目標となっております。指標の考え方につきましては、数値化による経年変化を観察することを前提に、大阪市の施策による影響以外の外的要因に大きく左右されない、またコントロール可能な範囲での無理のないチャレンジにより達成可能なものかどうか、現実的な設定かどうかというのを基本としています。

8 ページ以降の具体的な取組につきましては、このあとのグループ別の意見交換会におきまして各担当からご説明いたしますので、皆様からのご忌憚のないご意見ご発言をよろしくお願いいたします。

以上で私からの説明をおわります。

○稲見企画調整担当課長

では続きまして議題3番、長原駅前未利用地を活用したまちづくりの基本方針について説明させていただきます。私はあの、企画調整担当課長の稲見と申します。よろしくお願いします。

これはちょうど今ご説明がありました運営方針でいきますと経営課題1の取組になってございます。

資料6のほうをご覧ください。前のほうのスライドにも映っているんですが、ちょっと字が小さいのでお手元の資料のほうで見ていただいたほうがわかりやすいかと思います。

では説明を始めさせていただきます。平野区では長吉地域東部におきまして未利用地、公有地を活用した中長期的な視点でのまちづくり計画として長吉ウエルカムタウン計画というのを平成30年1月に策定してまいりました。

これはこれまでもこの区政会議です、この計画説明して区民の皆様のニーズを把握させていただくとともに民間事業者様の意見も参考にしながら検討を重ね、長原駅前の未利用地において、今ご覧いただいております資料にもありますように長原駅前未利用地を活用したまちづくりの基本方針として取りまとめまして、市長の承認もいただいた上で本年4月に公表してまいりました。

今般、区政会議におきまして時間をいただきまして、この基本方針について改めて報告させていただきたいと思います。

まずあの、右上の都市機能とまちづくり戦略というのをご覧ください。地域の再活性化をめざし、にぎわい集客機能を導入するとしまして、駅から自宅等の目的地までのラストワンマイルこれを担う交通手段を確保することで交通利便性をあげるということをまちづくり進めるための戦略というふうにしてございます。

まちづくりのイメージにつきましてはですね、左下のほうをご覧ください。都市機能の誘導イメージとありますけれども長原駅前の未利用地売却にあたりまして、西側の敷地については、その北側に地下鉄出入口から東に広がる住宅地に安全に行き来できるよう、土地区画手法を活用して、自転車歩行者専用道路の整備、これと用地整理を行いまして、にぎわい集客施設を導入し、東側敷地にはマンションなどの駅前にふさわしい住宅を導入するなどして地域の魅力向上、にぎわいによる再活性化、これをめざしたいと考えております。

現在は右下のスケジュールにありますように、土地区画整理手法を活用した用地整理等にかかる法手続きを進めているところでございまして、長原駅前の未利用地につきましては長らく未利用のままとなっております、区民の皆様にも大変ご心配いただいているというふうにも聞き及んでお

ります。今後このスケジュールに沿いまして、遅れることのないよう都市計画手続きでありますとか開発事業者の公募、これに取り組んで参りたいと思います。

最後になりますが、この長原駅前開発の波及効果により地域のポテンシャルが向上し、長吉地域東部これに多くあります未利用地が活用され、長吉地域東部全体ひいては平野区全体の活性化に繋がるよう引き続き務めてまいりたいと存じます。説明は以上でございます。

○岡本議長

はい、ありがとうございました。それではここで全体会を一旦中断します。事務局の方、ご案内をお願いいたします。

○司会（小西政策推進課担当係長）

はい。ありがとうございます。ここで先ほどの説明中に永井広幸議員が到着されましたことをご報告させていただきます。

はい、それでは先ほどご説明させていただきました内容についての質疑応答につきましては後ほど最終的なご意見ご質問を伺う時間を設けますので、その際をお願いいたします。

では、これから皆様には座席表で色づけされているテーブルに席を移動していただき、グループごとに議論していただきます。なお後半の全体会では各グループで話し合われた内容を委員の代表の方から報告していただきたいと思いますと考えておりますのでご協力をお願いいたします。

意見交換の場所ですが、安全安心まちづくりグループは2階の会議室。地域福祉グループは現在お座りいただいておりますこの場所の前方舞台側の机周辺となります。こども教育グループはホールこの会場入り口左手付近に設置しております机となっております。

各グループに見学席のほうをご用意しておりますので、市会議員の皆様もよろしければ見学をいただければと思います。

なお移動する際ですが、前方の机を地域福祉グループの意見交換場所として使用いたしますので、対象の席にお座りの方はお手数ですが、お荷物も含めて移動を願います。その他の方も貴重品は各自で管理をお願いいたします。

それでは全体会の再開は20時30分、50分後の20時30分からを予定しております。それでは各自移動のほうをよろしくをお願いいたします。

（グループ別意見交換会のため一時中断）

（再開）

○岡本議長

失礼いたします。それではただいまより全体会を再開いたします。

本日の前半に将来ビジョンの改訂および令和4年度の平野区運営方針（素案）及び長原駅前未利用地を活用したまちづくり基本方針について区役所より説明がありました。それをもとに各グループで具体的取組等についてご議論いただきましたが、その内容について委員の皆様から出た主なご意見について代表の委員より順に報告をお願いいたします。

いかがでしょうか。安全安心まちづくりの委員の方、ご代表の方よろしく願いいたします。

○福本委員

はい、安全安心まちづくりの福本と申します。うちのほうの分科会ではやっぱり一番多かった意見が防災リーダーについてなんです。で、地域を守っていく要としての防災リーダー、ほんでこれについてやっぱり立場、立場がいろいろありますもので、防災リーダーが誰かわからないって言うようなことで周知してほしいって言うようなことだとか、で、防災リーダーが高齢化して協力を得にくい。それから防災リーダーについて役割としたら避難所開設とか、地元の人間を助けるんじゃないしにそれも大事だけど、避難所開設とかもっと大きなことをやっていくのがいいんじゃないか。やはりあの、防災リーダーっていうのは非常に重要やということは意見がまとまっていたんですけど、その認識、それから、どういうふうに行動していったらいいか役割についてこれについてかなり突っ込んだ議論ございました。

その他は防犯カメラ。防犯関係についてはあの、防犯カメラですね、これもあの設置場所なんかがよくわからないんで周知してほしいって言うようなこと。

それから街灯の色ですね、これがオレンジ色なんで非常に見にくい、まだ未だにオレンジ色っていうのはやっぱり怖いなっていうようなこと。それから明るいところとまあ暗いところの差が激しいっていうようなそういう防犯灯についても複数の方からご意見頂戴しました。

重なった意見はそれと青パトについても、青パトについてもまあ昼間だけ回ってるんじゃないかっていうご意見の方、えっとそれからやっぱりうちの地区では夜もちゃんと回っているよっていう、もうその回り方っていうのは地域にまあ任されているわけなんですけど、えっとその辺のところの運用の仕方っていうのも、例えば、区役所さんのほうからこうこういうふうにして地域のほうで運用されてますよっていう、まあそういうようなことも周知していただいたらっていう、そういうような意見が出ました。大体以上の感じです、はい。

○岡本議長

はい。ありがとうございます。では、次は地域福祉のグループのご代表の方、お願いいたします。

○松野委員

はい、すいません。地域福祉グループでございます。委員が10名とアドバイザー1名で11名です、意見交換をさせていただきました。その中で多かったのが見守り活動についてということでございます。具体的にもう10月の10日からスタートしているというね、瓜破西地域ですか、これには事前勉強会、見守り相談室、オレンジチーム、地域包括ですね。具体的に動いていく中で月に1回やっている中でですね、まあ要援護者名簿の中で見守りの希望者のみ見守り活動している。それ以外の方がどうなるのかとかですね、町会の未加入の人これからどうしていくというようなそういう意見もございました。またあの、この見守りとですね、コロナの、少し収まってきたんですけどもね、どうというような形をとっていくのか。というのが、今、収まってきたから徐々に動くけれどもまた増えてきた場合はどうするのかとかですね、そのような話が出てまいりました。

あとまあいろんな皆さんご意見があったんですけども、まあ防災とかあとあの、認知症の方

のね、事前の訓練も実施しましたという、まあ地区もございました。これからまあ本番に向けてやっていくということで、なかなか声かけというのは勇気がいることで訓練を通じてそれらをまあ一つ一つつぶすといいんですかね、克服してやっていきたいなというのと、それとですね、あの大事なことを言うんですか、将来ビジョンがこれを概ね10年から20年というような先にまあ達成というか目途をしているというのがあまりにも長すぎるん違うんかなと。5年ぐらいというような形の中でね、具体的にやっていくということも必要ではないかなというような意見もございました。まあ以上でございます。よろしくお願いします。

○岡本議長

はい、ありがとうございます。では、最後にこども教育のご代表、お願いします。

○橋本委員

はい、こども教育のほうで意見させていただきました。今年度平野区PTA協議会の会長をさせていただいてます橋本と言います。よろしくお願いします。具体的取組内容の3-1としまして、虐待等のまあ早期発見に取り組む親の内容ということで、えーとあの、今年度先ほど区長さんからもお話いただきましたヤングケアラーについての講演会のほうの実施を考えておられるということで、この辺またヤングケアラーの定義等も難しい中で一体自分のこどもはそう当てはまるのかとかいうことも講習会で、いろいろ勉強できる機会を設けていただける予定があるということで非常に感謝しております。それと子育てについて必要な情報を入手できているかというアンケートなんですけども、これ委員さんのほうからご意見をいただきまして、60%以上というご意見があったんですが、まあこういった子育てサロンとか子育てフェスタという事業に参加されている方というのはこういったことにやはり関心の多い方でありますので、アンケートの数字が非常に高くなるんじゃないかということで、もっと無作為なアンケートの結果っていうものも出せばいいんじゃないかという話も出ました。

次に3-2こどもの教育、学習意欲の向上というところで平野区、ひらちゃんノートで図書ノートという形で小学校の、中学校で非常にこどもたちも活発にできているということで、ゲーム感覚、ウチの学校なんかゲーム感覚で校長先生が率先して取り組んでいただいて非常に高い数値を残す、割合を残せているということで非常にいい取組ではないかという案が出ています。ただ5年を経過してきてますので、ちょっとマンネリ化というか、もあるのかのかなということで新しい取組をしていただけたらなというご意見も出ました。で、何か僕も初めて聞いたんですけども、ビブリオバトルという本の紹介をするゲームみたいなのを始めた学校もあるというふうに聞いております。で、私が出てきてます平野区PTA協議会も今年度スポーツ大会とか委員活動というのがコロナのせいではぼできていない状況ですので、まあこんな言い方したらなんなんですけど活動が滞っているので、お金が活動費が余って、余るというか出ておりますので、それで平野区PTA協議会として各学校に図書の配布をしたいなというふうに考えております。ただ予算も限られてるのでその少ない本しか配れないと思うんですけど、ちょっと配り方とかで今いろんなしがらみ等がありましてなかなか難しい状況なんですけど、今年度中にそれを実現したいなと考えております。

3-3こどもたちのサポート活動ということなんですけども、まああの、しんどいこどもが非常

に多い中で平野区としてはこどもサポートネットとか青春生活支援事業っていうことで、非常に取り組んでいただいて、有意義なものかと思うんですが、なかなか困っている保護者の方にですね、どういうふうに周知したらいいのかという発信力の方がまだちょっとあの、低いのではないかなと。LINE等も始められて600件突破しているということなんですけど、正直僕もLINEでそういうことをしているということを今日知りました。なのでもうちょっと発信力を高めていただけたらなというご意見が出ましたので、その辺の今後の課題があるかなと思います。以上です。

○岡本議長

ありがとうございます。ここからは今までのご意見を含めまして皆様よりご意見いただきたいと思います。前半に区役所より説明しました内容の質問も含めまして、忌憚のないご意見をいただければと思います。ご発言される方は挙手の上、事務局がお届けするマイクを使って、お名前と何々の件と言ってから簡潔にお話ください。いかがでしょうか。質問等ございませんでしょうか。

○田部井委員

田部井と申します。ひとこと言わせていただけると、先ほどのあのグループにわかれてのところでは、かなり活発な意見が出ていて、あのぐらいの時間では全然こう、討論にもなっていないと感じています。もう少し幅広く討論できるような時間設定といいますか、長時間に渡ってというか意見交換ができるようにしたほうが会議のうえとしてはいいんじゃないかと思います。

○岡本議長。

はい。ありがとうございます。

本当に時間が少なくて申し訳ございません。あの、ご意見もね、もう時間が来ておりますので、またあの、これからの課題にしたいと思います。たくさんのあの、先ほどのご意見頂戴しておりましたが、もう予定の時間が迫ってまいりました。どうしても今というご意見、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それではここで鶴澤副議長から本日のまとめをお願いしたいと思います。

○鶴澤副議長

はい、まとめになるかわかりませんが、防犯のほうなんかであればねえ、私もあの、メールでよく来るんですね。1日に何回もあの、警察からメールを来るように僕しているんですけど、今日も何件か入ってました。そういう中でやっぱり、たいがいこどもたちのことに関して出てくるんですね。やっぱりそういうのでやっぱり防犯、こどものほうというやっぱり関係性が非常にあるので、やっぱり先ほど区役所みたいに連携ですね。あの、どことどの連携とかそういう連携を密にやっていくという文章的には連携言うのは簡単なんですけれども、それをいかにやっぱり中心的にあの、区役所のほうがやっぱり設定してもうて、組み合わせていかないとなかなかやっぱり各自皆さんのやられていることも大変ですので、やっぱりそこら辺、先ほどの青パトの話も出しましたがやっぱり区役所がやっぱりそこらへんがやっぱりこう協力してやっていってもらわないといけないのかなと。

それとやっぱりコロナ禍の中でやっぱり皆さん大変で、やっぱり昨年度も行えてたことが行えなくなったと。で、現在はだいぶね、こなれているんですけどやっぱりこのまま、またどうなるかわかりませんがやっぱりコロナ禍の中でいかにやっぱり安全性を持ってやっていくということも大事なんですけど、そうなるってくるといろんなまた問題というのが、あの、あると思うんですよね。やったことによってまた何かがあったら、なら誰が責任になんねんなんじゃないですけどもね。そこら辺の基準ベースもまあ地域の方々もいろいろあの熱心に話し、先ほど聞いてましたら、やられているということなんで、そこら辺のバックアップもこれも区役所必要なのかなということを思いますし、やっぱり委員の皆さんもいろいろね各自やられている大変な中でやられてて、非常にやっぱり行政とのあの絡みですかね、そういうのも非常に大事なかなと。で、まああの先ほどもちょっと高齢のほうでもやっぱりまだねちょっとあの地域包括支援センターさんがというお声が最後に出てまして、やっぱりまだ知られていないところもたくさんあるのかなと。やっぱりあの包括、結構僕も何年か前にここでも言ったんですけどもだいぶパーセンテージはあがっているんですけども、やはりまだまだ知られていないということで。やっぱりこういうのをやられていることはやっぱり一般の区民の皆さんはほとんど知らないんじゃないのかなと。やっぱりそういうところをもっと啓発していかないと。やっぱりさっきの若い世代にも入っていただかないといけないというのはやっぱり啓発が大事なかなと思うので、その辺もやっぱり役所のほうでやっぱりご検討していただけたらありがたいかなと。簡単ではありますが、これで。すみません。ありがとうございました。

○岡本議長

はい。まとめていただいてありがとうございました。では最後に本日ご出席の市会議員の皆様、代表の方お一人からご意見をいただけますでしょうか。ご代表の方、よろしくお願いいたします。

○永田典子議員

皆さんどうもお疲れ様でございます。本当にコロナ禍で1年ぶりの区政会議でした。あの、本当にまあ貴重なご意見、またさまざまいろいろなご意見、あのいただいて、本当にあの、ありがたいと思っております。ここに来ていただいている皆様が本当にあの、地域の平野区の代表としていろいろなご意見を本日いただいたこと。またあの、区役所のほうでもしっかり今の課題、またこれからどうしていくのかということをもっと具体的に皆様のご意見聞いたことを進めていっていただきたいとも思いますし、私たちが本日あの、参加させていただいた、来ておらない議員もおりますけれど、しっかりですね皆さんのお力にまた地域のためにならしていただけるように頑張っていきたいと思っていますところでございます。そしてこの資料の中にですね、今私見ておりましたらあの、2年度の実績でございますが、平野区に住みたいかまたあの、住みたいというアンケートがあの、結果がありましたけれども、7割以上の方がやはり平野区に住みたい、住みたいと思っていたらこのことを見ましてね、やっぱりもっともってあの、そう思っていただけでも増やしていきたいですし、またそう思っていた方にもやっぱり良かったやっぱりいいと平野区に住みたいと言うていただけるような平野区に皆さんと共にさせていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。本日は貴重なお時間ありがとうございました。

○岡本議長

ありがとうございました。

それではここで事務局にお返しいたします。皆様、議事進行へのご協力ありがとうございました。

○司会（小西政策推進課担当係長）

岡本議長、鶴澤副議長、ありがとうございました。

それではここで、先ほどお配りしましたアンケートについて政策推進課長吉野よりご説明させていただきます。

○吉野政策推進課長

先ほど皆様のところにA4のアンケート用紙のほうをお配りしていると思いますが、より良い区政会議の運営を今後検討していくためにアンケートへのご協力をお願いしたいと思います。ご回答をいただきながらで結構ですので、質問項目について聞いてもらえかと思います。

アンケート項目は全部で7つ用意しております。表面はQ1から順に区政会議での説明内容や配布資料の分量、区役所や委員間で活発な意見交換がなされたかどうかで、で、活発な意見交換に向けどのような課題があるか、で課題の改善を図るためどのような取組や工夫が必要か、委員の皆様からいただいたご意見や要望、評価について適切にフィードバックが行われているかどうか、およびそう思われた理由について選択肢又は、記入欄を用意いたしておりますので、それぞれご回答をお願いいたします。

最後のQ7につきましては自由意見になります。Q2の活発な意見交換の事例といたしましてこの間の区政会議では委員のあの、得意分野を生かしてじっくりと意見交換ができるよう本日のように全体会の合間に小グループにわかれての意見交換会の時間帯を設けております。あとQ5のフィードバックの事例といたしまして、区政会議でいただいたご意見につきましては資料2ですね、先ほどお配りいたしましたご意見対応状況という形で整理の上、区役所の考え方でありますとか対応の進捗状況につきましてお示しをさせていただいております。今後ともよりよい区政会議にいくために忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

○司会（小西政策推進課担当係長）

区役所からの説明は以上でございます。閉会にあたりまして区長よりご挨拶申し上げます。

○武市区長

どうも皆様、活発なご議論をありがとうございます。私たち、今日はですね、区役所のほうから、ご用意させていただいたのは、将来ビジョンと運営方針と、長吉長原の駅前の計画の説明でしたけれども、区役所は通常本当にたくさんのさまざまな業務をしております。今日いただいたご意見の中でなかなかやっぱり区役所のやっていることが十分皆様に伝わってないんだなというのはつくづく思いました。ひとつひとつの業務を説明をしていると本当に朝から晩までで日が暮れてしまいますので、それはおかしい話なんですけれども。ただどうしてもやっぱりお伝えせなあかん、わかっ

ていただかなあかんことはあるんだろうなっていうのをつくづく感じたところでございます。将来ビジョンとは言え、ひとつひとつ行政がやっていることで、民間にお願いしていること、地域のほうでやっていただいていること、すべてを網羅したものになっております。具体的に行政が何をやっているのかということをおわかっていただいた上で民間にも何ををお願いをしたかということもわかっていただいて、じゃあ地域は何をしていくんだろうかということをお理解していただく必要があるんだってことは今回思いました。今回いただいたご意見も基に将来ビジョン、運営方針、さまざま変更もしてまいります。また次の機会には出来あがったものを皆様にもお示ししたいと思っておりますけれども、なおこの会議につきましても、より皆様のご意見をしっかり聞けるような体制に変えていけるように内部で話もしていきたいと思っております。本当に本日は長時間どうもありがとうございます。

○司会（小西政策推進課担当係長）

それでは平野区区政会議１２月全体会を終了いたします。なおアンケートにつきましては記入後、名札とともにそのまま机に置いて、お帰りいただきますようお願いいたします。また返信用封筒につきましては平野区将来ビジョン（案）に関するご意見を後日提出する場合にお使いください。それでは改めて平野区区政会議全体会を終了いたします。ありがとうございました。